

アジア・オセアニア 豆 知 識



成長するアジアのエレクトロニックコマース* (EC) 市場に期待!

*エレクトロニックコマース:インターネットやコンピュータなど電子的な手段を介して行う商取引の総称。

アジアは人口増加により個人消費が拡大し、アジア経済の成長を後押ししています。また、2030年には、世界の中間所得層の約7割がアジアに集中すると見込まれています。このような中、今注目されているのが「EC市場」です。「デジタル世代」と呼ばれる若い世代を中心に、中間所得層の増加に伴う購買力を取り込むアジアのEC市場は、注目の成長市場となりそうです。

世界人口の約6割を占めるアジア

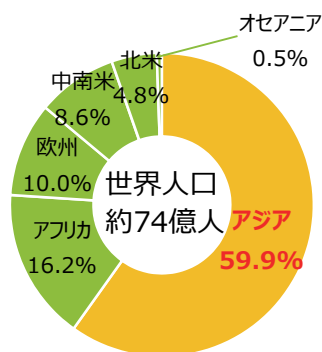
現在、世界の人口は約74億人となっています。そのうち、アジア全体は約44億人で、世界の人口の約6割を占めています(右グラフ)。今後アジアのさらなる人口増加が予想される中で、**急拡大が見込まれるのが「エレクトロニックコマース(EC)市場」**です。

EC市場の拡大要因として、アジアの人々がスマートフォンやタブレット端末等のモバイル端末を利用するモバイルコマースが挙げられます。モバイル端末を用いて商品の検索から決済までを行う習慣が普及しつつあり、こうした広がりアジアのEC市場をけん引していくとみられています。

(注1) 人口は国連による2015年の推計値。

(注2) 数値は四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。

<世界の人口分布(2015年)>



中間所得層の増加で成長期待が高まるEC市場

アジアの人口は、**中間所得層**が増加傾向にある**という特徴があります。所得水準の向上は人々の購買力につながります。

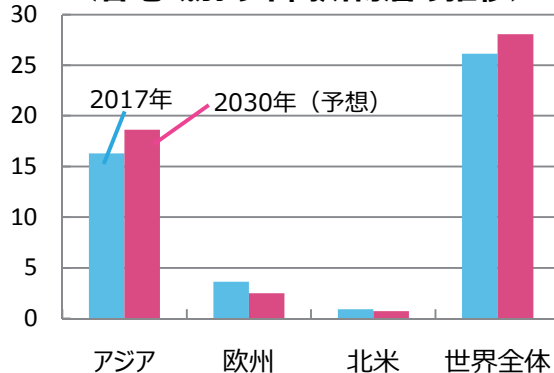
アジアの一部地域には銀行口座を持たない人々も多いことからオンライン決済に不備があること、アジア各国内における物流網が未整備であることなどまだまだ課題はあります。

しかし、**安価なスマートフォンの登場やデジタルに敏感な若い世代の台頭**は、スマートフォンやインターネットのさらなる普及を促し、アジアのEC市場の成長を押し上げる原動力となりそうです。

**購買力平価ベースの年間所得水準が5千~3万米ドルの層

(出所) 国連、Euromonitor International、各種報道資料等を基に三井住友アセットマネジメント作成

<各地域別の中間所得層の推移>



■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。